

[ムカデキンチョール行動停止プラス] [大日本除虫菊株式会社] [1416] [平成 30 年 1 月 10 日]  
[1/4]

作成日: 平成 30 年 1 月 10 日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : ムカデキンチョール行動停止プラス  
用途 : 殺虫剤  
会社名 : 大日本除虫菊株式会社  
住所 : 大阪市西区土佐堀 1 丁目 4 番 11 号  
担当部門 : お客様相談室  
電話番号 : 06-6441-1105  
整理番号 : 1416

### 2. 危険有害性の要約

物理的・化学的危険性 : 通常の使用において危険はない。高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、火気の付近及び高温になる場所に置くと破裂・爆発する可能性がある。水回りや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、内容液が漏出することがある。エアゾール原液: 引火性液体  
健康有害性 : 飲み込むと有害のおそれ。  
環境有害性 : 製品中に水生生物に対して毒性を示す成分を含む。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分 : <エアゾール原液>

ピレスロイド (トランスフルトリン、d-T80-フタルスリン、シフルトリン)、

クロシンなど

<噴射剤>

液化石油ガス (LPG)、ジメチルエーテル (DME)

成分 : トランスフルトリン (ピレスロイド系殺虫剤)  
化学名 : (-) -2, 3, 5, 6-テトラフルオロベンジル= (1R, 3S) -3-(2, 2-ジクロロビニル) -2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート  
化学式 :  $C_{16}H_{12}Cl_2F_4O_2$   
官報公示整理番号 : 化審法 (3) -4369、安衛法 4-(7) -1929  
CAS No. : 118712-89-3

成分 : d-T80-フタルスリン (ピレスロイド系殺虫剤)  
化学名 : (1, 3, 4, 5, 6, 7-ヘキサヒドロ-1, 3-ジオキソ-2-イソインドリル) メチル (+) -シス/トランス-クリサンテマート  
化学式 :  $C_{19}H_{25}NO_4$   
官報公示整理番号 : 化審法 (9) -839、安衛法 8-(1) -596  
CAS No. : 7696-12-0 (ラセミ体)

成分 : シフルトリン (ピレスロイド系殺虫剤)  
化学名 :  $\alpha$ -シアノ-4-フルオロ-3-フェノキシベンジル=3-(2, 2-ジクロロビニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート  
化学式 :  $C_{22}H_{18}Cl_2FNO_3$   
官報公示整理番号 : 化審法 (3) -4123、安衛法 4-(7) -1541  
CAS No. : 68359-37-5

[ムカデキンテョール行動停止プラス] [大日本除虫菊株式会社] [1416] [平成 30 年 1 月 10 日]

[2/4]

---

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し安静保温につとめる。酸素吸入を行う。医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水と石けんでよく洗い流す。
- 目に入った場合 : 流水で十分に洗い流し、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄したあと、コップ数杯の水を飲ませ希釈し、直ちに医師の診察を受ける。患者に意識がない場合には口から何も与えてはならない。

いずれの場合も医師の診察を受ける時は、本剤がピレスロイド系殺虫剤及びケロシンを含む製剤であることを告げて診察を受ける。

---

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、砂
- 消火方法 : エアゾール周辺で火災が起きた場合、エアゾールを安全な場所に移動させる。それが不可能な場合は注水して冷却する。

---

#### 6. 漏出時の措置

水回りや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、内容液が漏出することがある。  
風下の人を退避させ、付近の火気に充分注意すると共に、通風等により換気を良く行う。漏出液を乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させる。

---

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 取扱い:

- ・ 使用前に必ず製品表示を読み、十分理解した上で使用すること。
- ・ 定められた使用方法を守ること。
- ・ 今までに薬や化粧品などによるアレルギー症状（例えば発疹・発赤、かゆみ、かぶれなど）を起こしたことがある人、喘息の症状がある人などは、使用前に医師又は薬剤師に相談すること。
- ・ 魚に対して毒性があるので池や水槽などに噴霧粒子が入らないように注意すること。
- ・ 皮膚、目、飲食物、食器、おもちゃ、ペット類（観賞魚、小鳥など）、飼料、植物などにかからないようにすること。
- ・ 人体に向かって噴射しないこと。
- ・ プラスチック面、ニス塗装面、白木、白壁、床などは予め目立たないところに噴射して、影響がないことを確かめたのち、使用すること。
- ・ 家具、建具、カーテンなどの繊維製品、大理石、御影石などの石材、しゅくい、自動車の塗装面などに薬剤が付着した場合、変色、変形することがあるので、かからないように注意すること。
- ・ ムカデを駆除するときは、身体の露出部をできるだけ少なくするなど、かまれないよう十分注意すること。
- ・ 噴射中は噴射する人以外の人入室を避け、噴射後は室内の空気が外気と入れ換わってから、入室すること。また、噴霧粒子を直接吸入しないこと。
- ・ 薬剤が皮膚についたときは、石けんと水でよく洗うこと。目に入ったときは、直ちに水でよく洗い流すこと。
- ・ 万一、身体に異常を感じたときは、本品がピレスロイド系の殺虫剤であることを医師に告げて、直ちに診察を受けること。
- ・ 本剤使用後、乾くまでの間は滑りやすくなっているので、注意すること。
- ・ 噴霧塗布面に雨や水がかかると効果が減少するため、再度噴霧塗布すること。
- ・ 60 秒以上連続噴射しないこと。

##### 保管:

- ・ 子供の手の届かない涼しいところに保管すること。
  - ・ 夏場の車内、ファンヒーターなどの周囲に置かないこと。
  - ・ 水回りや湿気の多いところは、缶が錆びて破裂する危険があるので、置かないこと。
-

[ムカデキンチョール行動停止プラス] [大日本除虫菊株式会社] [1416] [平成30年1月10日]  
[3/4]

- 捨てるときは、火気のない通気性のある屋外で、ガス抜きキャップを利用するか、噴射音が消えるまでガスを抜き、地域の規則に従って捨てること。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

定められた使用方法及び使用上の注意事項に従って使用する。  
人体に向かって噴射しない。また噴射気体を直接吸入しない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

(エアゾール原液)

物理的状态

形状	: 液体
色	: 無色～微黄色澄明
臭い	: ほとんどにおいはない
引火点	: 108°C
密度	: 0.763 (20°C)

#### 10. 安定性及び反応性

安定性	: 室温において安定
反応性	: なし

#### 11. 有害性情報

急性毒性 (トランスフルトリン)

経口	(ラット)	: LD <sub>50</sub>	>5000 mg/kg
経皮	(ラット)	: LD <sub>50</sub>	>5000 mg/kg
吸入	(ラット)	: LC <sub>50</sub>	>0.513 mg/L (4h)

局所効果 (トランスフルトリン)

皮膚刺激性	(ウサギ)	: なし
皮膚感作性	(モルモット)	: なし
眼刺激性	(ウサギ)	: なし

急性毒性 (シフルトリン)

経口	(ラット♀)	: LD <sub>50</sub>	271 mg/kg
	(ラット♂)	: LD <sub>50</sub>	430 mg/kg
経皮	(ラット)	: LD <sub>50</sub>	>2000 mg/kg
吸入		: LC <sub>50</sub>	0.5 mg/L 空气中 (エアゾール)

急性毒性 (d-T80-フタルスリン)

経口	(ラット)	: LD <sub>50</sub>	>5000 mg/kg
経皮	(ラット)	: LD <sub>50</sub>	>5000 mg/kg
吸入		: LC <sub>50</sub>	>1180 mg/m <sup>3</sup> (3h)

#### 12. 環境影響情報

魚介類に毒性あり。

#### 13. 廃棄上の注意

捨てる時は、火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを抜く。  
火の中に入れてない。  
使い切って捨てる。

[ムカデキンチョール行動停止プラス] [大日本除虫菊株式会社] [1416] [平成 30 年 1 月 10 日]  
[4/4]

---

**14. 輸送上の注意**

国連分類 :

クラス 2.1 (引火性ガス) 国連番号 1950 (エアロゾル類)

輸送の特定の安全対策及び条件 :

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。温度の上昇を防止する。また、火気の付近に置かない。

---

**15. 適用法令**

消防法 :

危険物第 4 類第三石油類、危険等級 III

労働安全衛生法 :

表示対象物質 (灯油、ブタン)

通知対象物質 (灯油、ブタン)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 :

クラス 2.1 (引火性ガス)

高圧ガス保安法 :

高圧ガス適用除外

---

**16. その他の情報**

改訂の記録

作成日 : 平成 30 年 1 月 10 日

改訂日 :

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではありません。定められた用法・用量及び使用上の注意事項に従ってご使用下さい。